

令和7年度	資本的支出	工事NO. 第 号	令和8年1月	
課長	課長補佐	係長	検算	設計
工 事 設 計 書				
工事場所	大和郡山市新木町地内			
工事名	舗装本復旧工事新木町（第1工区）			
工事費	設計 円也			
うち消費税及び 地方消費税相当額	設計 円也			

本 工 事 内 訳 書

工事区分	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
								場所区分：一般交通影響有り(2)
本工事費	舗装工事							
		舗装本復旧工事		式	1			A- 1号内訳書
	直接工事費計							
		共通仮設費		式	1			
	共通仮設費計							
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費		式	1			
工事価格								
消費税相当額								
合計額								

間 接 工 事 明 細 書

設 計 条 件					
工 種	舗装工事	工事日数(内冬日数)		共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(2)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	補正なし	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算 出 基 礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数3位四捨五入2位止めとする。

$$\begin{aligned}
 \text{共通仮設費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{支給品費} + \text{事業損失防止施設費} - \text{共通仮設費対象外額} - \text{支給共仮費対象外額} + \text{準備費処分費} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad - \quad - \quad + \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \quad \therefore \quad \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

$$\begin{aligned}
 \text{現場管理費} &= \text{対象額} \times \text{率} \\
 &= \quad \times \quad \% \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{対象額} &= \text{直接工事費} + \text{共通仮設費} + \text{支給品費} + \text{支給品費(現)} - \text{現場管理費対象外額} - \text{支給現場費対象外額} - \text{処分除外費} \\
 &= \quad + \quad + \quad + \quad - \quad - \quad - \\
 &=
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{地域補正係数} \\
 &= \quad \% \times \\
 &= \quad \% \times \rightarrow \quad \therefore \quad \%
 \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

間 接 工 事 明 細 書

算 出 基 礎

$$\begin{aligned} \text{一 般 管 理 費} &= \text{対象額} \times \text{率} + \text{対象額} \times \text{契約保証補正值} - \text{調整額} \\ &= \quad \times \quad \% + \quad \times \quad \% - \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{対象額} &= \text{工事原価} - \text{一般管理費対象外額} - \text{処分除外費} + \text{一般管理補正額} \\ &= \quad - \quad - \quad + \\ &= \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{率} &= \text{対象額による率} \times \text{前払補正} \\ &= \quad \% \times \\ &= \quad \% \times \rightarrow \therefore \quad \% \end{aligned}$$

$$\text{対象額による率} = \quad \%$$

B- 1号

舗装工事 1式当たり明細書

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	アスファルト舗装版、15cm以下	m	55			施工P-01
	舗装版種別:アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚:15cm以下					
不陸整正	補足材なし	m ²	249			C- 1号単価表
不陸整正 (補足材t=3cm)		m ²	431			C- 2号単価表
不陸整正 (補足材t=7cm)		m ²	690			C- 3号単価表
舗装版のみの打換工 (バックホ直接掘削積込), 1000m ² 以上	As : t =5cm	m ²	1,371			C- 4号単価表
As殻処分		m ³	98			C- 5号単価表
計						

B- 1号明細書(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断/アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械	K		15.05			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式	供/日	10.24			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務	R		58.43			
R 1	特殊作業員	人	19.96			
R 2	土木一般世話役	人	10.88			
R 3	普通作業員	人	8.92			
R 4						
R 5						
材料	Z		26.52			
Z 1	コンクリートカッタ(プレート) / 径18インチ	枚	22.39			
Z 2	ガソリン/レギュラー	L	2.81			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場	S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left(\frac{10.24}{100} \times \frac{15.05}{10.24} \right) \times \frac{15.05}{10.24} \right. \\
 & + \left(\frac{19.96}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{10.88}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} + \frac{8.92}{100} \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \right) \times \frac{58.43}{19.96+10.88+8.92} \\
 & + \left(\frac{22.39}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} + \frac{2.81}{100} \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \right) \times \frac{26.52}{22.39+2.81} \\
 & \left. + \frac{100-15.05-58.43-26.52}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

C- 1号

不陸整正 100m²当たり単価表

補足材なし

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人	0.05			
特殊作業員		人	0.149			
普通作業員		人	0.198			
小型ハック杓(クロー型)運転費(全層打換用)	標準型・超低騒音型	日	0.188			F- 1号運転費
クロー運転費(全層打換用)	普通型・低騒音型排出ガス対策型	日	0.13			F- 2号運転費
振動クロー運転費(舗装用)(全層打換用)	搭乗・コンパクト式・低騒音型 排出ガス対	日	0.13			F- 3号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1 m ² 当たり						

C- 2号

不陸整正（補足材t=3cm） 100㎡当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人	0.05			
特殊作業員		人	0.149			
普通作業員		人	0.198			
再生粒度調整砕石	RM-30	m3	3.81			C- 6号単価表
小型バックホウ(クローラ型) 運転費(全層打換用)	標準型・超低騒音型	日	0.188			F- 1号運転費
クローラ運転費(全層打換用)	普通型・低騒音型排出ガス対策型	日	0.13			F- 2号運転費
振動クローラ運転費(舗装用)(全層打換用)	搭乗・コンパクト式・低騒音型 排出ガス対	日	0.13			F- 3号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1㎡当たり						

C- 3号

不陸整正（補足材t=7cm） 100m²当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人	0.05			
特殊作業員		人	0.149			
普通作業員		人	0.198			
再生粒度調整砕石	RM-30	m ³	8.89			C- 6号単価表
小型バックホウ(クローラ型) 運転費(全層打換用)	標準型・超低騒音型	日	0.188			F- 1号運転費
クローラ運転費(全層打換用)	普通型・低騒音型排出ガス対策型	日	0.13			F- 2号運転費
振動クローラ運転費(舗装用)(全層打換用)	搭乗・コンパクト式・低騒音型 排出ガス対	日	0.13			F- 3号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1 m ² 当たり						

C- 4号

舗装版のみの打換工（ハック杓直接掘削積込 100m²当たり単価表

As : t =5cm

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人	0.264			
特殊作業員		人	0.792			
普通作業員		人	1.056			
アスファルト合材	再生密粒度アスコン(13)	t	12.573			
ハック杓運転費(舗装版打換用)	クロー型 標準型・超低騒音型排	日	0.769			F- 4号運転費
小型ハック杓(クロー型)運転費(舗装版打換用)	標準型・超低騒音型	日	0.261			F- 5号運転費
タイヤロー運転費(舗装版打換用)	普通型・低騒音型排出ガス対策型	日	0.245			F- 6号運転費
振動ロー運転費(舗装用)(舗装版打換用)	搭乗・コンバインド式・低騒音型 排出ガス対	日	0.25			F- 7号運転費
アスファルトフィニッシャ運転費(舗装版打換用)	ホイール型 排出ガス対策型	日	0.222			F- 8号運転費
諸雑費		式	1			
計						
1 m ² 当たり						

C- 5号単価表(施工P-01)

積算単位:m3

標準単価:

As殻運搬/小規模、バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)、土砂(岩塊・玉
土砂等発生現場:小規模、積込機種・規格:バックホ山積0.13m3(平積0.1m3)
土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)、DID区間の有無:無し、運搬距離:3.5km以下

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K		20.25			
K 1 タンクトラック オンロード・ディーゼル	供/日	20.25			
K 2					
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		71.03			
R 1 運転手(一般)	人	71.03			
R 2					
R 3					
R 4					
R 5					
材料 Z		8.72			
Z 1 軽油	L	8.72			
Z 2					
Z 3					
Z 4					
Z 5					
市場 S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left[\left(\frac{20.25}{100} \times \frac{20.25}{20.25} \right) \times \frac{20.25}{20.25} \right. \\
 & + \left(\frac{71.03}{100} \times \frac{71.03}{71.03} \right) \times \frac{71.03}{71.03} \\
 & + \left(\frac{8.72}{100} \times \frac{8.72}{8.72} \right) \times \frac{8.72}{8.72} \\
 & \left. + \frac{100-20.25-71.03-8.72}{100} \right] =
 \end{aligned}$$

